ハーティーズ 決勝Tへ

県家庭婦人バレー

バレーボールの神戸新聞杯兵庫県家庭婦人選手権（神戸新聞社主催）第4日は14日、尼崎市記念公園総合体育館で14～16組の予選リーグと各組代表決定戦があり、小束山クラブ（14組、神戸市）KOBATO（15組、西宮市）ハーティーズ（16組、加古郡）が決勝トーナメント進出を決めた。

22日に神戸市立中央体育館である決勝トーナメントの代表16チームが出そろった。組み合わせは別表の通り。

【14組】予選リーグ　浜甲バレー2－1名倉、小束山ク2－0鳴尾、三木自由が丘MC2－1浜甲バレー、小束山ク2－1歌敷山ク、三木自由が丘MC2－0名倉、歌敷山ク2－1鳴尾

▽代表決定戦

小束山ク　2（21－13、21－19）1　平木ク

【15組】予選リーグ　嵐2－0貴崎KYC、つくし2－1二見ク、平木ク2－1嵐、KOBATO2－0つくし、平木ク2－0貴崎KYC、KOBATO2－0二見ク

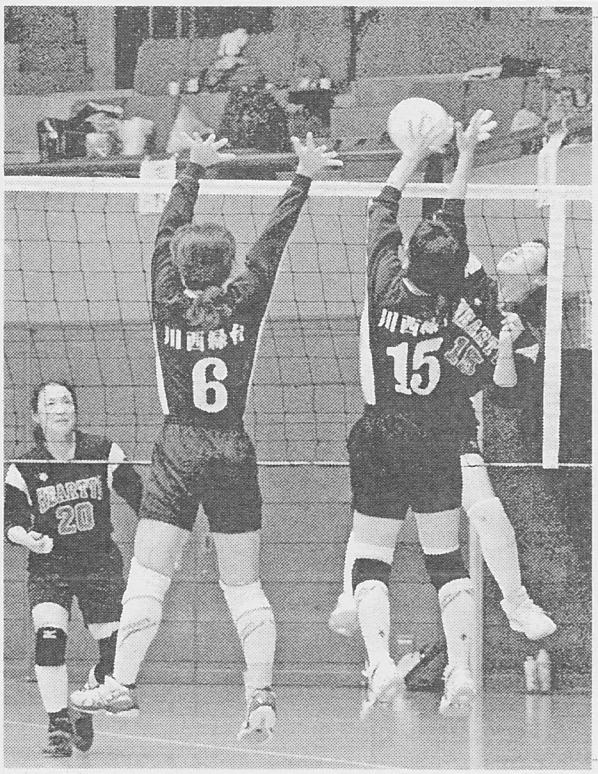
▽代表決定戦

KOBATO　2（21－17、21－11）1　三木自由が丘MC

【16組】予選リーグ　川西緑台2－0須磨ク、竜が台ク2－1本多聞ク、須磨ク2－0SKY、ハーティーズ2－0竜が台ク、川西緑台2－0芦屋川、ハーティーズ2－0本多聞ク、芦屋川2－0SKY

▽代表決定戦

ハーティーズ　2（22－20、22－20）0　川西緑台



ハーティーズ－川西緑台　第2セット、ハーティーズの黒田（右端）がスパイクを決め、マッチポイントとする＝尼崎市記念公園総合体育館

粘って巻き返し 創部16年目歓喜

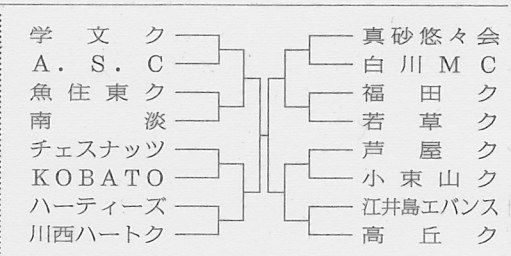
16組 ハーティーズ、次戦気合

○…ハーティーズは創部16年目で初の決勝トーナメント進出を決めた。代表決定戦では、序盤に0－5とされたが粘って巻き返した。「この年になったらテンションを上げるのが難しい。皆で声を掛け合った」と42歳の今岡。岡田の好サーブや堀江のブロックなどで逆転につなげた。

一進一退の第2セットは、8－8から中川が連続サーブポイント。夏に夫の単身赴任先を訪れて練習に加われなかった間、「砂利道の上で連日特訓した」という成果を出して流れを引き寄せた。

次戦の相手は、昨年に全国大会ブロック優勝を飾った川西ハートクラブ。楫（かじ）主将は「胸を借りるつもりで思い切りやる」と話していた。

（永見将人）

一つでも多く勝つ

小束山クラブ・木谷雅子主将「リードしても波に乗り切れないので、決勝トーナメントまでにつなぎやサーブカットを修正しなければ。今春のスプリングカップ初優勝に続き、一つでも多く勝ちたい」